

これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。
This is not an official record by the meeting organizers. Do not quote.

タイトル	<p>「CC:iNet」の立ち上げ、ライブデモンストレーション</p> <p>The official launch and live demonstration of CC:iNet</p>
主催	UNFCCC 事務局
日時	2005 年 11 月 30 日 (水) 13 : 00 ~ 15 : 00
主要討論者	<p>Janos Pasztor (Coordinator, Sustainable Development Programme, UNFCCC)</p> <p>David Paterson (Networking Assistant, Sustainable Development Programme, UNFCCC)</p> <p>Michael Williams (UNEP)</p>
傍聴者	約 50 名
目的	<p>条約第 6 条 (教育・普及・啓発) の履行活動の一環として作成された、「気候変動情報ネットワークプロトタイプ (climate change information network prototype, CC:iNet)」のデモンストレーションを披露し、プログラムを紹介。</p>
発表の概要	<p>Pasztor 氏 (UNFCCC 事務局)</p> <p>まず、UNFCCC 事務局の Pasztor 氏が、クリアリングハウスとしての CC:iNet 設置の経緯や概要の簡単な説明を行った後、CC:iNet プログラム作成に技術面からサポートしてきた Paterson 氏からデモンストレーションが行われた。</p> <p style="text-align: center;">UNFCCC 「CC:iNet」ウェブサイト URL : http://unfccc.int/cc_inet/items/3514.php</p> <p>Paterson 氏 (UNFCCC 事務局)</p> <p>CC:iNet において、条約第 6 条関係 (教育・普及・啓発) の以下の情報が掲載されていることが紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分野別プログラム (教育、普及、訓練、住民参加、情報へのアクセス、国際協力の各プログラム) ・ 専門家のデータベース (1/11 現在、4 名の専門家が登録) ・ 機関のデータベース (1/11 現在、4 機関が登録) ・ 行事カレンダー ・ 関連リンク集 <p>また、各コンテンツの使用方法 (データの検索方法など) を説明。各種検索のデモンストレーションを行ってみせたが、掲載データ量が少ないこともあり、今後、更なる掲載情報の拡充を図ることをアピールした。</p> <p>尚、専門家や機関のデータベースには、自らのデータを CC:iNet にアクセスし、データベースに追加できるため、広く参加 (投稿) を呼び掛けた。</p> <p>Williams 氏 (UNEP)</p> <p>また、この CC:iNet 設立にあたって、Pasztor 氏よりフランス、米国、英国等からの資金援助があったことが紹介され、感謝の意が表された。</p>

これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。
This is not an official record by the meeting organizers. Do not quote.

質疑応答	<p>Q1：CC:iNet の名前について、第 6 条（教育・普及・啓発）についての活動との結びつきが見えにくいネーミングだと感じる。変更すべきではないか？（ベルギー政府関係者）</p> <p>A1：ネーミングについては、時間をかけて考えた結果、親しみ易く、キャッチーなものにしたつもりである。（Pasztor 氏）</p> <p>Q2：掲載される資料のコピーライト（著作権）について。（有料なのか？無料なのか？）</p> <p>A2：掲載資料は基本的には著作権がある。但し、掲載資料の中にはコピーフリーのものもある。個別に事務局宛にお問い合わせ頂きたい。（Pasztor 氏）</p> <p>Q3：CC:iNet へのログインについて、使い方について。</p> <p>A3：まだプロトタイプ段階だが、今後さらにユーザーフレンドリーな形で開発を進めていきたい。（Paterson 氏）</p> <p>Q4：この CC:iNet を通じて、教育現場でも利用できると感じた。学校教育に関連したプロジェクト、活動についてもさらに紹介して欲しい。（中東欧環境センター (REC)）</p> <p>A4：各関連団体との効果的な連携を今後模索したい。（Paterson 氏）</p> <p>Q5：ユーザーが CC:iNet にアクセスし、自ら情報の投稿ができる、とのことであったが、アップデートされる前に、UNFCCC 側のチェックは入るのか？また、チェックが入るのであれば、寄せられた情報が恣意的に掲載／不掲載と判断されるのでは？（フランス政府関係者）</p> <p>A5：アップデート前に事務局が内容のチェックを行う。但し、寄せられる投稿については、恣意的な判断は避け、掲載に前向きに取り組むたいと考えている。（Pasztor 氏）</p> <p>C：2005 年 9 月横浜にて、UNFCCC 第 6 条アジア太平洋地域ワークショップ（第 15 回地球温暖化アジア太平洋地域セミナーと共同開催）を UNFCCC、日本環境省他と共催したことを紹介し（会場内希望者に報告書・CD-ROM を配布）CC:iNet と同じく、ウェブ上での情報ネットワークとして、1998 年より運用している「AP-Net（アジア太平洋地球温暖化情報ネットワーク（www.ap-net.org））」と今後、連携して協力させて頂ければ、とコメント。（OECC 家本）</p>
資料	<p>UNFCCC「CC:iNet」ウェブサイト URL：http://unfccc.int/cc_inet/items/3514.php （プレゼンテーション資料なし）</p>